

研修主題： かかわり合い共に成長していく学級をめざして  
～小学校1年生に育む「かかわる力」～

長期研修員 横田 ミチル  
(教育相談スタッフ相談セッション)

**【研修の概要】**

1年生の子どもたちに人と「かかわる力」を育むためには、子どもの内面に目を向け「心のエネルギー」を育むこと、学級で意図的に子ども同士がかかわり合える取組をすること、自分の気持ちを感じることを、何より教師自身が人と「かかわる力」を高めるために自分を見つめていくことが大切であると考えた。そして、それぞれの視点について、授業実践やプレイセラピーなどを通して学んだことも取り入れてまとめた。

**【キーワード】**

「かかわる力」 かかわり合い 心のエネルギー 自分の傾向 わかろうとして 豊かな自分

研修主題： 自尊感情を高めるかかわり  
～お互いを認め合える居心地のよい学級を目指して～

長期研修員 小川 宏幸  
(教育相談スタッフ相談セッション)

**【研修の概要】**

不登校や問題行動の背景には、子ども達の自尊感情の低さが関係しているのではないかととらえた。自尊感情を「基本的自尊感情」と「社会的自尊感情」の二つの領域でとらえ、その二つがバランスよく発達すること、その形成には身近で重要な他者とのかかわりが大切であると考えた。そして、自尊感情の高まりとお互いを認め合える居心地のよい学級を目指し、学校現場でできるかかわりを探った。

**【キーワード】**

基本的自尊感情 社会的自尊感情 健全な自尊感情 重要な他者とのかかわり 共有体験

研修主題： 生徒の社会性を育むための授業づくり(一考察)  
～社会性の発達の基盤となる人とかかわる力(関係づくり)をとおして～

特別支援教育研修生 真玉 玲子  
(教育相談スタッフ特別支援教育セッション)

**【研修の概要】**

生徒同士がよりよい関係を築いて、安心して学べる環境を求めて、生徒一人ひとりの社会性を育む取組をテーマとした。社会性は、人とかかわる機会や経験が基盤となって育っていく。そこで、特別活動の学級活動において、人とかかわる体験、自己理解を促す学習を取り入れながら社会性を育むための題材や単元を設定して授業実践を行う。授業考察をしていくことで、よりよい授業づくりや教師のかかわりについて研修した。

**【キーワード】**

社会性を育む 人とのかかわり 自己理解 教師のかかわり

研修主題： 自閉症児の自立活動についての考察  
～発達視点から子どもをみつめる～

特別支援教育研修生 高梨 桂子  
(教育相談スタッフ特別支援教育セクション)

【研修の概要】

【研修の概要】

定型発達の幼児への発達検査を通して、自我が形成されるころの発達の道すじを理解した。そして自閉症児の対人関係の発達について、他者がどのような支援を行えば、自閉症児と共感・共有できるようなかわりになるか、実践を通して考察した。また、実践で明らかになったことを基に、知的障がいをもつ自閉症児の人間関係の形成を基盤に据えた自立活動の指導内容について考察した。

【キーワード】

自閉症児 発達 共感・共有 自立活動 人間関係の形成 インリアル・アプローチ

研修主題： 通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり  
～単元を貫く言語活動を位置付けた国語科の取組から～

特別支援教育研修生 西 裕里  
(相談スタッフ特別支援教育セクション)

【研修の概要】

誰もが認められ、ともに学ぶ楽しさを味わうためにはどのような支援や指導の工夫が有効か、児童の実態把握をもとに、単元を貫く言語活動を位置付けた国語科の授業実践を通じて、通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりについて考えた。

【キーワード】

通常の学級 特別支援教育の視点 単元を貫く言語活動 国語科 アセスメント

研修主題： 子ども同士のつながりを深める小学校3年生の学級集団づくりの在り方を探る

長期研修員 三浦 伝  
(浜田教育センター教育相談スタッフ)

【研修の概要】

小学校3年生の学級集団づくりの在り方を探るため、3年生の発達の段階について文献から学んだことを3つに整理した。それらを基盤として、児童同士のかかわり方では「相手の思いを聞き合える関係づくりの在り方」、教師のかかわり方では「児童の思いを聴く教師のかかわり方」を視点として研修を進めた。

【キーワード】

小学校3年生 発達の段階 児童同士のかかわり方 教師のかかわり方 聞くこと・聴くこと

研修主題： 児童の自尊感情を育てることを基盤とした  
小学校高学年における学級集団づくりの在り方を探る  
～学級での「かかわり」を通して～

長期研修員 岩崎 真人  
(浜田教育センター教育相談スタッフ)

**【研修の概要】**

児童の不適応行動の背景を考えた時、児童の「自尊感情」を育むことが必要ではないかと考えた。自尊感情を高めるためには、周りの友だちや親、教師との「かかわり」が重要であり、学級づくりにおいてもその視点を持ち、「かかわり」の量、質ともに充実させることが求められると考える。本研修では特に小学校高学年における「かかわり」を意識した学級づくりの在り方を探った。

**【キーワード】**

自尊感情 発達の段階 小学校高学年 かかわり 共有体験 教師の感性

研修主題： 中学校特別支援学級における自己理解を支える手立てを探る

特別支援教育研修生 内村 由佳理  
(浜田教育センター教育相談スタッフ)

**【研修の概要】**

思春期を迎えた中学校特別支援学級の生徒が、得意なことや苦手なこと等自分の特性について自他の評価から知り、「自己理解」を深める授業を行った。自作のサポートカードを使用して、現場実習の場で「自己紹介」をすることから、自分自身をより客観的に見つめる実践を行った。

**【キーワード】**

思春期 中学校特別支援学級 自己理解 サポートカード 現場実習 自己紹介